

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ジョンF. ジャーム
 第 2550 地区ガバナー：栃木 秀麿
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 E-mail：m2550@agate.plala.or.jp



会長：村山 茂 幹事：植竹 一裕
 事務局：(株)植竹虎太商店内 植竹 一裕
 〒325-0056 那須塩原市本町 6-34
 TEL:0287-62-1123・FAX:0287-63-9228
 E-mail：k.uetake@coral.plala.or.jp
 例会：毎週水曜日 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2773回 村山年度 第39回 会報 2017 4-26 司会 安藤讓治君

会長挨拶 村山茂会長



皆様、今日は、いよいよ春爛漫となってまいりました。桜も若葉に衣替えし、様々な木々の緑もいっせいに芽吹いてまいりました。田植えの準備も進んでいるようで、間もなく地域全体が緑の稲穂に覆われ、そしてやがて初夏を迎えます。一年で最も活力に満ちた季節を迎えます。一昨日は、タラの芽と白木の新芽を頂戴し天ぷらで食しましたが、まさに、この季節ならではのご馳走でございました。

さて、先週は、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会のお計らいで、黒磯高等学校インターアクト部員とともに、恒例の足尾植樹に参加してまいりました。好天にも恵まれ、怪我もなく無事に植樹をしてまいりましたが、かつての自然を取り戻すためには、まだまだ継続した作業が必要だと思いました。また、秋葉秀樹会員には、2550地区の担当者として2日間にわたり現地で汗をかいていただいております。本当に、お疲れ様でした。

ところで、最近、国産野菜の不足が気になります。昨年8月に襲った台風などの天候不順で、最初に玉ねぎの不足が伝えられ、1個100円くらいまで値上がりしました。最近では、報道でご存知の通り、北海道産のじゃがいもの不作により、ポテトチップスの販売を休止するという発表は、ちょっとしたパニックをもたらしました。加工食品メーカーや外食

企業の原料調達が滞っている結果、このような事態になった訳です。

2008年に起きた中国餃子中毒事件や、2014年に起きたマクドナルドの使用期限切れ鶏肉問題、最近ではブラジルの食肉不正問題の発覚などにより、消費者の食の安心安全に対する意識が高まっているため、企業側も国産重視にならざるを得ない。その結果として、国内産に偏りすぎたが故のリスクが顕在化し、安定供給に支障が出たと言えると思います。

昔から、お天道様しいと言われますが、地球規模で起きている気候変動がもたらす影響は、農業にとっては非常に深刻なものと思われまます。ましてや、日本の穀物自給率は、2011年現在で28%と世界178か国中125番目の低さで、国内農業振興の重要性は議論の余地がございません。

一方で、過日の外来卓話でもありましたが、日々廃棄される膨大な食糧品の問題。そうかと言えば、世界では、内戦や干ばつ、洪水といった人災、自然災害により、多くの子どもたちが飢餓に瀕しているなど、国内外ともに食糧問題については、直接人命にかかわるだけに、核心的な事項として再認識する必要があると思っていますし、黒磯クラブにも直接あるいは間接的に農業に携わっている会員がいっぱいいますが、くれぐれもよろしくお願い申し上げる次第です。

この後、本日の卓話は青少年奉仕委員会の担当で、津久井誠二会員のお話しをお伺いできると聞いております。久しぶりですので、楽しみにしております。

以上、本日までのご挨拶といたします。ご清聴有難うございました。

幹事報告 植竹一裕幹事

第39回幹事報告です。

- 2020年日本のロータリー100周年に関するアン

出席報告 出席委員会 ****君 (出席規定の免除会員数5名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 4月26日	38(5)	28(4)	10(1)	75.7%		
前回 4月19日	38(5)	28(4)	10(1)	75.7%	7人	94.6%

欠席の場合は当日9時30分までに次のいずれかにご連絡を。電話62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

ケートが届きました。村山茂会長にお渡しいたしました。



第3回ゴルフ愛好会の優勝者は津久井誠二君です。どうぞ前へ出て頂き、会長より優勝トロフィーを受取下さい。

なお第4回ゴルフ愛好会は5月10日那須ゴルフ大会と一緒にございます。どうぞ協力のほどよろしく願います。

● **社会奉仕委員会**
委員長 室井次男君



- ロータリー財団100周年記念シンポジウムのDVDが届いております。ご覧になりたい方は植竹にお声掛け下さい。このDVDはmp4形式対応ですので、PCのMedia Playerでご覧いただけます。ご家庭用のDVDプレイヤーでは見る事が出来ません。また、ネットへのアップはご容赦下さい。
- ガバナー事務所よりRYLAセミナー報告書が届きました。現在回覧しております。
- 国際ロータリー公共イメージポスターが届きました。お帰りの時にお持ち帰り下さい。2種類各1枚ずつです。

社会奉仕委員会からお知らせ致します。例年実施いたしております那珂川源流の水質検査ですが今年も実施することを予定しました。期日は5月27日と28日になります。一泊二日、泊まる場所は三斗小屋温泉になります。那珂川源流と那珂川流域の水のサンプルを採取したいと思います。峠沢まで行きますので結構きついかと思います。休日ですので奮ってご参加頂ければと思います。出発時刻ですが9時を予定しております。割烹石山を9時に出発して、その日のうちに峠沢まで行きたいと思いますので宜しくお願いします。以上です。


 **委員会報告 高木茂副会長**



本日は担当である荒井副会長が欠席ですので、私が委員会報告を申し受けます。報告のある委員会は挙手願います。

● **ゴルフ愛好会 大森貞男君**



 **ニコニコボックス 津久井誠二君**



村山茂君 足尾植樹に行ってみりました。青少年奉仕、社会奉仕委員会の皆様大変お世話になりました。



卓話 青少年委員会委員長 澤田吉夫君



こんにちは、ただいま村山会長も言われましたが、足尾での植樹大変ご苦労様でした。黒磯高校より9名の参加とロータリークラブより7名の参加を戴きまして、植樹をやってまいりました。天気もよく桜が満開で花見も同時にしてまいりました。詳細等は村山会長が言われましたので、省かせて頂きます。

本日は青少年奉仕委員会の卓話であります。メンバーは私澤田と副委員長に安藤譲治さん委員に石山桂子さん、それに津久井誠二さんの4名であります。その中で、われら青少年奉仕委員会が誇ります津久井誠二

委員がたっぷりとお話をいたしますので、ご静聴のほど、よろしく願いいたします。

● 青少年委員会 津久井誠二君

本日の卓話は金融業に関わりの深い、地域経済情勢と今後の産業構造の行方についてお話したいと思えます。

1. 地域経済情勢

宇都宮財務事務所が4半期毎に公表している県内情勢について、「結論がどう導き出されるのか」皆さんのご意見を伺いつつ、確認したいと思えます。

県内経済情勢

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項目	前回 (29年1月判断)	今回 (29年4月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	➡

(注) 29年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店・スーパー販売額が前年を下回っているものの、乗用車販売は新型車投入効果などにより前年を上回るなど、緩やかに持ち直している。生産活動は持ち直しつつある。雇用情勢は緩やかに改善している。

【各項目の判断】

項目	前回 (29年1月判断)	今回 (29年4月判断)	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡
雇用情勢	改善しつつある	緩やかに改善している	➡
設備投資	28年度は増加見込みとなっている	28年度は増加見込みとなっている	➡
企業収益	28年度は減益見込みとなっている	28年度は減益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「均衡」となっている	「下降」超となっている	➡
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
公共事業	前年を上回っている	前年を上回っている	➡

【先行き】

先行きについては、海外経済の景気の下振れや為替・原油の動向など、地域経済に影響を与える要因に注意する必要があるものの、各種政策の効果や雇用・所得環境の更なる改善により、地域経済が着実な景気回復へ向かうことが期待される。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに持ち直している」

百貨店・スーパー販売額は前年を下回っているものの、乗用車販売は新型車投入効果などにより前年を上回っている。また、コンビニエンスストア販売額は前年を上回って推移していることなどから、全体として緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 高品質商品の売れ行きは落ちておらず、高級ブランド等の高額商品の売上げは好調となっている。(百貨店、中小企業)
- 2月は前年がうるう年で1日多かった反動により売上が減少しているが、消費者の購買意欲は堅調とみている。(スーパー、中小企業)
- イベント関連の消費は好調であるものの、冬物衣料の売れ行きは極端に寒い日がなく不調。(スーパー、大企業)
- 普通車、小型車ともに新型車の受注は好調であり、半年程度の納車待ちが発生している。(自動車販売店、中堅企業)
- 消費者の節約志向を感じる一方、こだわりに応えられる高品質で単価の高い商品の販売は好調。(ホームセンター、大企業)
- メインメニューの価格改定後も来店客数は変わらず、客単価が上昇している。(飲食店、中堅企業)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産指数を業種別にみると、電気機械、情報通信機械は減少しているものの、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、金属製品は増加しており、全体として持ち直しつつある。

- 主要輸出先である北米市場の販売動向は落ち着いており、1~2月の生産台数は前年を上回っている。(輸送機械、大企業)
- 北米向けは景気回復が継続しており受注状況が好調となっている。また、新興国向けについても、公共工事関連や資源価格の上昇を背景に鉱山開発関連の受注が増加傾向にある。(生産用機械、大企業)
- 各社ともに製品の差別化が難しい状況であり、業界全体で需要が落ち込んでいるため、生産台数は前年を下回っている。(電気機械、大企業)
- 自動車部品の生産量は、国内向けで伸び悩んでいるものの、海外向けは好調であり、全体で見ると前年を大きく上回っている。特に米国向けは、ガソリン安の影響から自動車の売れ行きがよいため好調となっている。(金属製品、中小企業)
- 国内向けは高付加価値モデルに特化して生産しており、海外向けは生産の移管を進めているため、生産台数は前年を下回っている。(情報通信機械、大企業)

■ 雇用情勢 「緩やかに改善している」

有効求人倍率が上昇しているほか、新規求人数が増加しているなど、緩やかに改善している。

- 人手不足感が強まっていることから、店舗人員に外国人を採用する準備を進めている。(スーパー、中小企業)
- 女性の人員確保のため、敷地内に企業内託児所を建設している。(建設、大企業)

■ 設備投資 「28年度は増加見込みとなっている」 「法人企業景気予測調査」29年1-3月期

- 28年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比29.3%の増加見込み、非製造業では同0.6%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同17.3%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「28年度は減益見込みとなっている」 「法人企業景気予測調査」29年1-3月期

- 28年度の経常損益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比48.8%の減益見込み、非製造業では同10.1%の減益見込みとなっており、全規模・全産業では同37.8%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 「法人企業景気予測調査」29年1-3月期

- 景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業で見ると、「下降」超幅が縮小した後、「上昇」超へ転じる見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家は前年を下回っているものの、分譲住宅は前年を上回っている。

▶ マイナス金利の影響で住宅ローンを組みやすい環境が整っていることから、このところ分譲住宅の受注が好調となっている。また、住宅ローン金利の上昇がみられることも住宅購入の訴求要因となっている。(不動産、大企業)

■ 公共事業 「前年を上回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、前年を上回っている。

■ 企業倒産 「件数は前年を上回っており、金額は前年を下回っている」

■ 金融情勢 「貸出金は前年を上回っている」

2. 今後の産業構造の行方

- 昨今の経済キーワードは「AI」(人工知能)
- 日経新聞4月23日の記事「ロボットと競えますか」を題材として、今後の産業構造がどう変化していくのか、また企業経営者としてどう対峙していけばよいのかを考える題材を提供をしたいと思います。

AIと世界 **ロボットと競えますか** 日本の仕事、5割代替 主要国トップ

2017/4/23付 | 日本経済新聞 朝刊

人工知能(AI)の登場でロボットの存在感が世界で増している。日本経済新聞と英フィナンシャル・タイムズ(F T)が実施した共同の調査研究では、人が携わる約2千種類の仕事(業務)のうち3割はロボットへの置き換えが可能なが分かった。焦点を日本に絞ると主要国で最大となる5割強の業務を自動化できることも明らかになった。人とロボットが仕事を競い合う時代はすでに始まっている。

(関連記事[総合4面に](#))

日経とF Tは、読者が自分の職業を選択・入力するとロボットに仕事を奪われる確率をはじめ出す分析ツールを共同開発し、22日に日経電子版で公開した。米マッキンゼー・アンド・カンパニーが820種の職業に含まれる計2069業務の自動化動向をまとめた膨大なデータを日経・F Tが再集計し、ツールの開発と共同調査に活用した。



■ 丸ごと自動化も

調査の結果、全業務の34%に当たる710の業務がロボットに置き換え可能と分かった。一部の眼科技師や食品加工、石こうの塗装工などの職業では、すべての業務が丸ごとロボットに置き換わる可能性があることも判明した。ただ、明日は我が身と過度に心配する必要はない。大半の職業はロボットでは代替できない複雑な業務が残るため、完全自動化できる職業は全体の5%未満にとどまる。

19世紀の産業革命に始まる製造業の歴史は、自動化への挑戦そのものだった。200年を経た今、AIの進化が新たな自動化の波を起こしつつある。

マッキンゼーによるとエンジンを組み立てる工場労働者の場合、77ある業務の75%が自動化できる。部品の組み立てや製品の箱詰め作業などだ。米ゼネラル・モーターズ（GM）は世界各国に合計3万台のロボットを導入しており、うち8500台のロボットは稼働情報を共有して生産ラインに故障の前兆がないかAIが目を光らせている。

自動化の流れは、難しいとされたホワイトカラーや事務系職場にも押し寄せる。米通信大手のAT&Tは顧客の注文の文書化やパスワードのリセット作業など500

業務相当をソフトウェアロボットで自動化している。データ抽出や数値計算は人より高速にできるため「2017年末にはさらに3倍に増やす」（同社）計画だ。

ホワイトカラーの象徴といえる金融機関でも自動化が進む。事務職では60ある業務のうちファイル作成など65%がロボットに代替できる。米ゴールドマン・サックスでは00年に600人いたトレーダーが株式売買の自動化システムに置き換わり現在は数人に減った。著名投資家のジム・ロジャーズ氏も「AIが進化すれば証券ブローカーなどの仕事は消える」と断言する。

一方で意思決定や計画立案にかかわる仕事、想像力を働かせる仕事はロボットの苦手分野だ。最高経営責任者（CEO）など経営幹部には63の業務があるが、ロボット化が可能なのは業務進捗表の作成など22%にとどまる。俳優や音楽家など芸術関連の職業も65ある業務のうち自動化対象は17%にすぎない。

■人手不足の解

今ある業務が自動化される割合を国別に比較すると、日本はロボットの導入余地が主要国の中で最も大きいことが明らかになった。マッキンゼーの試算では自動化が可能な業務の割合は日本が55%で、米国の46%、欧州の47%を上回る。農業や製造業など人手に頼る職業の比重が大きい中国（51%）やインド（52%）をも上回る結果となった。

日本は金融・保険、官公庁の事務職や製造業で、他国よりもロボットに適した資料作成など単純業務の割合が高いという。米国などに比べ弁護士や官公庁事務職などで業務の自動化が遅れている面もある。米国の大手法律事務所では膨大な資料の山から証拠を見つけ出す作業にAIを使う動きが急速に広がっているが、日本はこれからだ。

一部の職場ではすでに雇用が失われ始めるなどロボット化には負の側面が確かにある。それでも生産年齢人口が50年後に4割減る見通しの日本では、ロボットに任せられる業務は任せて生産性を高めることが国力の維持に欠かせない。

旧足尾銅山の煙害などで枯れ果てた山の再生に取り組む「第22回春の植樹デー」が22日、23日、日光市足尾町の松木地区で始まった。「足尾の山に100万本の木を植えよう」の合言葉の下、県内外から1150人が参加し、当クラブ、黒磯高校インターアクトクラブも参加し広葉樹の苗木を植えた。活動の様子を写真に収めました。



4月26日欠席(敬称略)
 時庭稔・荒井昌一・和気勝利・豊田哲司
 小野安正・鈴木隆子・遠藤清和・高木慶一
 深町彰・戸野俊介

前回 4月19日分メイクアップ(敬称略)
 荒井昌一・高木慶一・平山博・室井次男
 和気勝利・薄孝明・時庭稔

次回例会

平成29年5月10日

担当 青少年奉仕委員会

近隣クラブ例会日

- 火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
- 木曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
- 木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

- 木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
- 木曜日 那須/ホテルエビナール那須 0287-78-6000
- 金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：稲垣政一・鳥居輝一・秋間 忍・高木慶一・安藤譲治